

# 秋分の日を満喫

## 第14回観光キャンペーン



伝  
統  
の

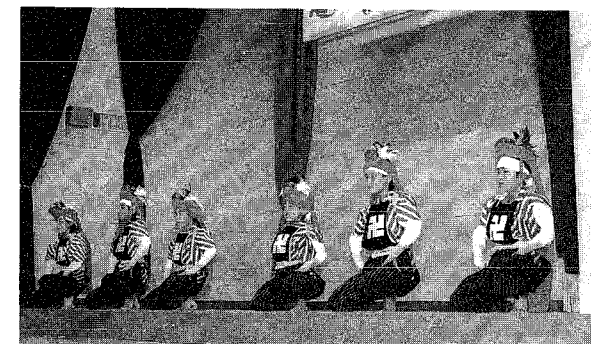


技  
を  
披

露



▲軽快なバチさばきを見せる「月潟太鼓」



▲月潟の物産販売も大盛況  
「いらっしゃいませ！」

# 月潟村を再発見

## 角兵衛獅子の舞い

秋晴れの好天に恵まれた9月23日(秋分の日)月潟村農村環境改善センターで、第14回観光キャンペーン「角兵衛獅子の舞い」が行われ、「ふる里再発見の旅・越後・中ノ口川河畔観光ツアー」の団体をはじめ、村内外から多数の観客が集まり大盛況の1日となりました。

このキャンペーンは、月潟村の観光・物産を紹介し地域の活性化を図っています。会場では、午後2時から「月潟太鼓」「角兵衛獅子の舞い」が披露される一方、物産即売として、手づくり銘菓類・月潟手打ち鎌、味セーキ梨、角兵衛獅子人形、洋梨ワインなどが販売され、観客のみなさんは秋の一日を楽しんでいました。

# 昼間より夜間に多い交通死亡事故

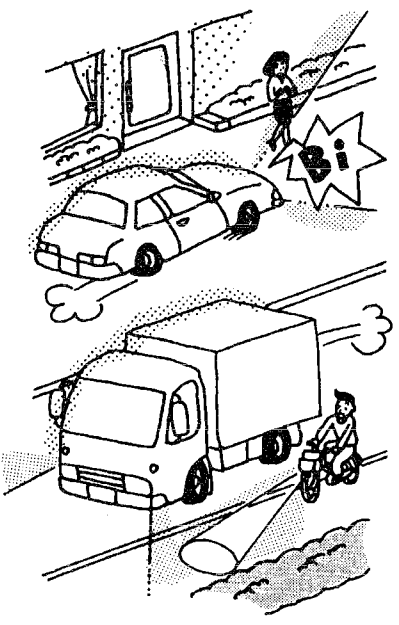
## 自立つ服装でドライバーにアピール

平成6年の夜間の交通事故件数は、221,140件。このうち死亡事故件数は、5,681件でした。この年のすべての交通死亡事故の約6割を、夜間の交通事故が占めています。そして、交通事故1,000件当たりの死亡率は、昼間が8.8件なのに、夜間は25.7件と、昼間の約3倍です。昭和54年と比較すると、夜間の交通事故は42.8%も増えています。これ以上、夜間の交通事故を増やさないようにするにはどうしたらいいのか、また交通事故に遭わないために何をすればいいのかをみてみましょう。

昭和30年代半ばから自動車が増え、急速に普及し、交通事故が増え、昭和40年代には「交通戦争」という言葉が生まれるほど交通事故が増え、昭和45年の交通事故死者は16,765人にもなりました。その後は、交通事故死者は減り続けましたが、昭和54年から再び増えはじ

めました。そして昭和55年には、夜間の交通事故死者が昼間を上回りました。

夜間の交通事故が増えた原因は、生活環境の変化と密接な関係があります。わたしたちの生活は、どのように変わったのでしょうか。



### ●ドライバーの注意事項● スピード違反が事故のもと



夜間の交通事故で自動車運転中による事故原因は、スピード違反が一番多く、全体の66%です。次いで酒酔い運転、ハンドル操作の不適切、わき見運転と続きます。このほか、ブレーキ操作の誤りや過労、信号無視などがあります。

夜間の運転は、①視界が狭くなり、危険を確認するのが遅くなる ②気が大きくなり、身勝手な運転をしがちになる ③暗闇で見えない色と見えにくい色がある ④対向車のライトで一瞬見えなくなるなどの特徴があります。こうしたことを頭に入れて、運転することが必要です。

### ▲夜間の運転の特徴▼